

献血協力呼び掛け

岩戸養護学校 社会貢献 将来へ自信

横須賀

県立岩戸養護学校（横須賀市岩戸）の生徒たちが19日、県立保健福祉大（同市平成町）で学生らに献血へ



献血を呼び掛ける県立岩戸養護学校の生徒ら
＝県立保健福祉大

の協力を呼び掛ける活動に参加した。社会貢献の具体的な経験を積むことで将来への自信をつけてもらうという同校の発案に、地元

の奉仕団体などが賛同して実現した。

参加したのは、知的障害のある同校3年の9人。同大での献血は、学生への呼び掛けなどを担う横須賀中央ライオンズクラブ（LC）の協力の下、日本赤十字社が年2回ほど行っている。今回は、同校が横須賀中央LCに打診して参加することになった。

生徒たちは、学生らにティッシュを配るなどして協力を呼び掛けたほか、献血を終えた人に手作りのメモ帳やたわしをプレゼント。同大1年の古賀ゆめさん（19）は「大切に使います」と笑顔で応じた。生徒たちは、今後献血す

る際に不安にならないようにと、バス車内で同校の教諭が献血する様子を特別に見学した。同校3年の渡部七海さん（18）は「人の役に立ててとてもうれしかった」と振り返り、同じく3年の水地潤樹さん（18）は「次は、自分も献血してみたい」と語った。

同校の藤本武校長は「社会に羽ばたく生徒たちが、自分に自信を持てるような取り組みを今後も行っていきたい」と話した。

（堤 正喜）